

東南アジア・インド

中期的視点による重点的取組

企業活動の支援や県産品の輸出拡大による経済交流の促進と活力の取り込み

令和4年度の評価

★経済交流の促進と活力の取り込み

○インドネシア西ジャワ州との交流

- ・11月、出野副知事が西ジャワ州を訪問し、人材育成・経済分野での協力覚書を更新

○企業活動の支援

- ・ビジネスサポートデスクが県内企業からの相談に対応（実績21件）し、県内企業の現地展開をサポート
- ・静岡・シンガポールアグリフードフォーラムを開催。本県とシンガポールの企業等による協業に向けた連携を促進

○観光誘客

- ・フィリピンで影響力のある Fumiya 氏によるモニターツアー（参加者10人）。動画再生回数48万回以上
- ・航空会社への働きかけ等により、3月、ベトナムとのチャーター便運航が実現

○県産品の輸出拡大

- ・「ふじのくに通商エキスパート」が相談・商談等15件、調査1件、広報・その他8件を実施。バンコクの高級ホテルでの静岡フェアで、高品質な県産品の味をPR

○外国人材の受入れ

- ・インド、インドネシア、ベトナムの高度人材と県内企業とのマッチング会を開催（応募者計1,117人、参加企業計34社、内定者計37人）。県内企業の外国人材採用を支援
- ・西ジャワ州から介護分野の研修員2人を受入れ。県内介護施設での実習等により、本県での就職への足がかりを構築

現状・課題

★海外からの活力取り込み

- ・人手不足の影響を受ける県内企業を支援するため、東南アジア・インドからの人材受け入れ強化が必要
- ・東南アジアでは、覚書に基づく連携した事業実施が可能なインドネシア西ジャワ州を核とした事業展開が効果的
- ・国際連合の推計では、本年（2023年）、インドは中国を抜き、人口が世界最多の国になる見込み。ITやAI分野を専攻した卒業生数が世界第一位で、インドからの活力取り込みの強化が必要

★インバウンドの強化

- ・課題となっている本県の認知度向上に向け、情報発信への注力が必要

令和5年度の取組

★経済交流の促進と活力の取り込み

○企業活動の支援

- ・【ベトナム】東南アジア主要国で、現地進出企業等を対象としたセミナー等を開催。県内企業の海外展開を支援し、現地進出企業等とのネットワークを構築
- ・ビジネスサポートデスクでの相談受付体制を維持し、県内企業の現地展開を支援

○県産品の輸出拡大

- ・「ふじのくに通商エキスパート」の活用
- ・県産食材を使用したレストランフェアを継続。県産食材の品質を直接体験する機会を提供し、輸出拡大を促進

○観光誘客

- ・現地旅行会社、メディア等へのマーケティング、商談会・観光展への出展等による観光誘客

○外国人材の受入れ

- ・【インド、インドネシア、ベトナム】高度人材と県内企業とのマッチング会により、県内企業の外国人材採用を支援。インドは、企業のニーズを踏まえ、専攻分野の絞込も検討
- ・【インドネシア】本県での就職を希望する西ジャワ州の外国人材へのオンライン日本語研修等を実施
- ・【インド】マッチング会の相乗効果を高めるため、駐日インド大使館等の関係機関との連携を強化。インド人材向け本県PR動画を作成し、大使館のもつネットワークを活用した拡散で、インド人材に本県を効果的にPR
- ・【タイ】ビジネスインターンの受入支援や泰日工業大学でのジョブフェアへの出展等により、優秀な人材の受入れを促進



東アジア地方政府会合記者会見  
（インドネシア西ジャワ州）



静岡・シンガポールアグリフードフォーラム  
（シンガポール環境大臣挨拶）



フィリピンモニターツアー



「ふじのくに通商エキスパート」と  
連携した静岡フェア（シンガポール）